

監査人のためのサイバーリスク対策はわかり講座

～ 文系視点で実務的なサイバーセキュリティ・サイバーコンプライアンス ～

日時 2025年(令和7年)1月17日(金) 10:00～17:00 (6H)

参加方法 オンライン参加：ZoomによるLive配信

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村 智憲 氏
公認不正検査士 (CFE)



お申込ページはこちら

対象 監査役、内部監査部門、リスク管理部門、総務部門、内部統制部門、コンプライアンス・CSR部門、監査法人、監査系コンサルタント、ISO部門など

主催 一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

昨今のDX推進や生成AI活用の掛け声に呼応して、それらに宿命的なサイバーリスクへの対策・脆弱性・改善点などを、監査人として把握・指摘・指導することが強く求められています。

加えて、サイバーテロやサイバー攻撃に備え、自社・サプライチェーン全体で、サイバーリスク対策の底上げや監査指導・監査指摘・改善提案をしていく必要があります。

そこで、監査人自身のプライベート（ご自宅・ご家庭・ご家族）でも、また、監査活動・業務面でも、わが身も組織も守るサイバーリスク対策・サイバーコンプライアンス対応について、文系監査人の目線・経営視点・現場感覚でわかりやすく実務的な「はわかり講座」をご用意しました。

エッセンスをギュッと凝縮してお届けする1日間セミナーで、監査人にとってのサイバーリスク対応力アップへのヒントを盛りだくさんでお届けします。

■参加料 (1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

- ◇ 日本経営協会会員(1名)：33,000円(税込)
- ◇ 一般 (1名)：40,700円(税込)

■受講お申込み方法

お申込みは開催日の**5営業日前**までをお願いいたします。

- ① 本会HPをWEBで検索
- ② 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- ③ ご希望のセミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック
- ④ ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
※テキスト・資料の送付先が、ご連絡先と異なる場合は「連絡事項」部分に送付先住所をご入力ください。
- ⑤ お申込みいただきますと、確認メールが届きます。

■参加料金お支払い方法

お申込み後、振込口座名を記載した請求書と参加券をご連絡担当者にお送りします。なお、開催3営業日前までに届かない場合は必ず電話にてご確認下さい。参加料のお振込みは原則として請求書に記載のお支払期限までお願いいたします。

振込み手数料は貴社(団体)にてご負担下さい。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきます。

■キャンセルについて

お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。セミナーテキスト・資料の到着後のキャンセルについては、参加料の100%を申し受けます。(セミナー開催日の1週間前程度から発送開始)

お申込み・お問合せ先 一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-31-11 住友不動産新宿南口ビル13階
TEL (03) 6632-7140(直) E-mail:tms@noma.or.jp
URL <https://www.noma.or.jp>

■オンライン参加について

【セミナーで使用するテキスト・資料とご視聴について】

セミナーで使用するテキスト・資料類は、現物(紙)を送付する予定ですが、ダウンロードURLをメールでご案内する場合がございます。当日、視聴していただくためのURL及びID・パスワードは、別途担当からメールにてご連絡担当者宛てご連絡いたします。

【オンラインセミナー受講上の注意事項について】

Zoomに接続可能なパソコンまたはタブレット端末をご用意下さい。事前に各ストアから無料アプリをダウンロード(最新のバージョンに更新)して下さい。

Zoom公式ホームページ: <https://zoom.us/>

セミナー動画の録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また自ら、又は第三者を通じて、テキストデータおよびセミナー動画の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権・知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。

セミナー参加に必要な通信環境、通信料等は、参加者のご負担となりますのであらかじめご了承下さい。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索/ご入会のご案内」をご参照下さい。

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

監査人のためのサイバーリスク対策はわかり講座

プログラム内容

1. サイバーリスク対策の過去・現在・未来

- ITに疎い監査人にとってのサイバーリスク対策というハードルを越える
 - IT用語を使わずに文系視点でかみ砕いてサイバーリスクを見つめなおす
 - 全国的に見受けられる監査法人からのIT統制の監査指摘一覧と対策ポイント
 - DX推進に呼応して宿命的なサイバーリスク対策を監査人としてどうするか？
 - 生成AIの光と影：
生成AIのワナの考察とGPT監査の主要なテスト手法
 - サイバーセキュリティ事件簿：
世の中を騒がすサイバー攻撃のあれこれ
 - ランキング形式でお届けするサイバーセキュリティの重要課題と対策
 - 要するに実務的に何をどうするよう監査指摘・監査指導すれば良いのか？
 - 「パスワードを定期的に変更する」は国際的な非常識：どう監査指導する？
 - 金をかけず日々の習慣でサイバーリスク対策の底上げをする7つのポイント
 - DX・生成AI・リモートワークなどでのサイバーリスク対策や監査上の留意点
 - サイバーリスク保険や補助金・助成金を活用する監査指摘・監査指導のヒント
 - サイバー攻撃・ウイルス感染の「いざという時」にどうする？
 - 普段からのサイバーリスク対策訓練・緊急対応チーム作り・相談先について
 - 危機管理型クラウドでのIT-BCP・DR（ディザスタ・リカバリー）対策
- など

2. サイバーコンプライアンス：

サイバー関連の法的な15のポイント

- 監査人が知っておきたい主なサイバー関連の主な法的課題と対応：
①不正アクセス禁止法、②不正競争防止法・営業機密保持、③欧米や中国などでの反スパイ等の関連法令、④通信傍受法（犯罪捜査のための通信傍受に関する法律）、⑤電子署名法、⑥電子帳簿保存法、⑦経営陣・幹部・管理職における善管注意義務や管理監督責任、⑧役職員すべてに関わるソーシャルメディアコンプライアンス（SNSコンプライアンス）（(C) 戸村智恵）、⑨SNS投稿と誹謗中傷・厳罰化された侮辱罪・名誉棄損・メディア等での違法性阻却事由、⑩サイバー空間での人権リスクやハラスメント（メタバース/VR/SNS/ネット上における諸課題）、⑪個人情報保護法・番号法などにおける4つの安全管理措置、⑫テレワーク/リモートワーク/ワーケーションにおける外部作業環境でのサイバーリスク対策、⑬システム管理基準/システム監査基準、⑭サイバーセキュリティに関するガイドライン類、⑮サイバーテロ対策/サイバーテロに備える自社・サプライチェーンでの監査指導、など
 - 平時/有事のリモート監査対応の課題と対策ポイント
 - 各種IT機器とサイバーリスク対策
 - 訴訟対応と賠償金リスク対策でのサイバー保険での備え
 - いざという時の緊急対応と情報源
- など

3. 質疑応答

※本セミナーの指導項目などについては、最新の動向などをより良くお届けできるよう、事前の予告なく増補・補足・改訂・修正・変更などを行う場合がございます。予め悪しからずご了承下さいませ。

講師プロフィール

早大卒。米国MBA修了時に学業評価/人物審査で学長推薦にて全米トップ0.5%のみに授与される全米優秀大学院生を受賞。米国Ph. D博士後期課程中退。

国連勤務にて、国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案専門官リーダー、ESG・SDGs・CSR関連の普及啓発・広報業務などを担当。退官後、学術面では、経営行動科学学会理事や岡山大学大学院非常勤講師など、経営面ではJA長野中央会の顧問、上場IT企業JFEシステムズのアドバイザー、IT商社(株)アシストの顧問や、業界団体の会長・役員などを歴任。

元・Google社長との国際会議場でのAI特別対談や、世界初でのリスク管理指標「KRI」「KCI」や東日本大震災前から世界初でクラウドの災害対策活用モデル「危機管理型クラウド」の開発・学会発表・普及啓発にも尽力。

弁護士・公認会計士・医師・看護師など専門家/士業のプロを指導するプロとしても活動。

著書33冊。代表作に『企業統治の退廃と甦生』（中央経済社）など。NHK「クローズアップ現代」TV出演や、日テレ日曜ドラマ「ブラッシュアップライフ」に主演の安藤サクラさんとのセスナの教官役でのドラマ共演・航空監修など、TV・ラジオ・寄稿連載など多数。

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
公認不正検査士（CFE）

とむら ともりの
戸村 智恵氏



講師プロフィール詳細